



商産第1587号

平成29年2月7日

一般社団法人 沖縄県高圧ガス保安協会

会長 渡口彦則 殿

沖縄県商工労働部

産業政策課長 伊集直哉



建設工事等におけるガスパイプ損傷事故の防止について（周知）

平素から本県の保安行政にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、標記について、経済産業省商務流通保安グループガス安全室から別添のとおり周知の要請がありましたので、写しを送付します。

つきましては、貴協会会員に対して周知いただくようお願いします。

《担当》

沖縄県商工労働部産業政策課
産業基盤班 座波（ざは）

TEL：098-866-2330

FAX：098-866-2440

zahawata@pref.okinawa.lg.jp



経済産業省

29商ガ安第1号

平成29年1月31日

沖縄県商工労働部 産業政策課 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室

建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止について（事務連絡）

標記の件について、経済産業省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

貴部署におかれましては、必要に応じ、関係行政機関への連絡や関係団体等を通じた事業者への周知をお願いいたします。

経済産業省

29商ガ安第1号

平成29年1月31日

一般社団法人全国LPガス協会
会長 北嶋 一郎 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室 田村 厚雄

建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止について（協力依頼）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガスパ이프等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガスパ이프を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

経済産業省

29 商ガ安第1号

平成29年1月31日

日本液化石油ガス協議会
会長 川本 武彦 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室 田村 厚雄

建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止について（協力依頼）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・ 建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガスパ이프等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガスパ이프を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・ 必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・ 供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

経済産業省

29 商ガ安第1号

平成29年1月31日

一般財団法人全国LPガス保安共済事業団
理事長 後藤 庄樹 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室 田村 厚雄

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

経済産業省

29商ガ安第1号

平成29年1月31日

厚生労働省労働基準局安全衛生部

安全課建設安全対策室長 縄田 英樹 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室長 田村 厚雄

建設工事等におけるガスパ管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等に伴い、毎年ガスパ管を損傷するなどの事故が発生しており、平成23年から平成27年の5年間で504件、負傷者数51名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約1割以上の割合で発生し、平成28年は11月末時点で、既に110件発生しております。

最近の事故事例では、平成28年7月に、建物解体工事において、誤ってガスパ管を折損し引き抜いた後、ガスの臭気を認識しつつも電動ピックにより解体作業を継続していたところ、漏えいしたガスの着火により作業員が負傷した事故や、平成28年10月に、改装工事において、給湯配管ろう付け作業中、バーナーにてガスパ管を誤って損傷し、漏えいしたガスの着火により作業員が負傷した事故がありました。

こうした建設工事等におけるガスパ管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガスパ管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガスパ管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガスパ管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者、立会を求めること。
- ・ガス事業者、照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者、連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者、連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料 1 平成 27 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 2 平成 28 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 3 建設工事等事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/lpgas/files/0226takoji.pdf

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等)件数	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	計
ガス事故件数	694	731	977	861	702	3,965
うち、都市ガス	467	471	767	674	531	2,910
液化石油ガス	227	260	210	187	171	1,055
建設工事等事故件数	74	93	90	109	138	504
うち、都市ガス	61	70	72	90	122	415
液化石油ガス	13	23	18	19	16	89
うち、事前照会無し	50	60	68	84	94	356
建設工事等事故による負傷者数	16	10	9	4	12	51

(経済産業省ガス安全室調べ)

経 済 産 業 省

29商ガ安第1号

平成29年1月31日

国土交通省土地・建設産業局

建設市場整備課長 木村 実 殿

経済産業省商務流通保安グループガス安全室長 田村 厚雄

建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等に伴い、毎年ガスパ이프を損傷するなどの事故が発生しており、平成23年から平成27年の5年間で504件、負傷者数51名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約1割以上の割合で発生し、平成28年は11月末時点で、既に110件発生しております。

最近の事故事例では、平成28年7月に、建物解体工事において、誤ってガスパ이프を折損し引き抜いた後、ガスの臭気を認識しつつも電動ピックにより解体作業を継続していたところ、漏えいしたガスの着火により作業員が負傷した事故や、平成28年10月に、改装工事において、給湯配管ろう付け作業中、バーナーにてガスパ이프を誤って損傷し、漏えいしたガスの着火により作業員が負傷した事故がありました。

こうした建設工事等におけるガスパ이프損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガスパ이프の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガスパ이프を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者へ立会を求めること。
- ・ガス事業者へ照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者へ連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者へ連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料 1 平成 27 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 2 平成 28 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料 3 建設工事等事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/lpgas/files/0226takoji.pdf

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等)件数	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	計
ガス事故件数	694	731	977	861	702	3,965
うち、都市ガス	467	471	767	674	531	2,910
液化石油ガス	227	260	210	187	171	1,055
建設工事等事故件数	74	93	90	109	138	504
うち、都市ガス	61	70	72	90	122	415
液化石油ガス	13	23	18	19	16	89
うち、事前照会無し	50	60	68	84	94	356
建設工事等事故による負傷者数	16	10	9	4	12	51

(経済産業省ガス安全室調べ)

平成27年の建設工事等におけるガス管損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/7	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体事業者から建物解体作業中に重機等によって導管(灯外内管)を損傷したため「ガス漏えいが発生」との通報を(続けて消防より)受け、当該社員1名が14時50分頃現場に到着。既に消防隊員によって当該製造所のガス発生設備の運転を全て停止していた。
1/10	東京	解体工事	都市ガス	0	警察から、当該現場付近にて強いガス臭気がある旨の通報を受け付けた。ガス事業者が出動したところ、解体工事現場にてガス管(灯外内管:25mm)が2箇所損傷しており、その内1箇所にはタオルが詰め込まれていることを確認した。また、警察による付近道路の(区道:70m)の交通規制の実施を確認した。
1/10	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から、工事中にガス管を損傷した旨の通報を受け付けた。ガス事業者が出動したところ、水道工事業者が行った当該建物7階の床部分のコンクリートのコア抜き作業によって、コンクリート部分に埋設設置されていたガス管(灯外内管:25mm)が損傷していることを確認した。(未照会工事)なお、ガス事業者は建物内にてガスの滞留を確認したことから、安全確保のために消防へ出動要請し、到着した消防により、当該建物内の居住者計15名を屋外へ避難誘導するとともに付近道路(区道:計160m)の交通規制が実施された。
1/10	大阪	土質調査	都市ガス	0	土質調査業者より「土質調査時のボーリング工事中に臭気有り」で受付、緊急出動。保安担当部署担当者到着時、ボーリング箇所付近にて臭気有り。地中埋設部の破損のため応急措置が困難と判断し、ガス事業者より消防へ出動要請。消防到着後、交通規制実施(避難なし)。ポリエチレン管30mmの灯外内管(不使用管:埋設深さ46cm)の管体部の破損を確認、粘土テープ巻きにて応急措置実施。上流側にてスクイズオフを行い、付近の漏えい調査で異常無しを確認後、交通規制を解除した。
1/12	秋田	除雪作業	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「火事でLPガスが燃えている」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、容器の設置場所である物置小屋の火は消防により鎮火しており、煙が上がっている状態であった。 原因は、除雪業者が、容器の周辺に雪を下ろしたため、荷重により容器に直付けされた自動切替式調整器の接続部が損傷し、漏えいしたガスに2.5m離れたボイラー室の灯油ボイラーの火が引火したものと推定される。 なお、ガス容器からボイラー室までのコンクリート上には、融雪用の散水がされており、漏えいしたガスが融雪した部分を通ってボイラー室に流入し、ボイラーの火が引火した可能性が考えられる。また、事故発生時、消費者は2回の爆発音を聞いていることから、漏えいしたガスが、2.5m離れたボイラー室の灯油ボイラーに着火し1回目の爆発、さらに、爆発時の炎が容器周辺に滞留したガスに引火、2回目の爆発となり火災に至ったものと推定される。
1/13	神奈川	解体工事	都市ガス	0	1月13日、14:42建物解体中にガス管を破損し火災が発生していると消防署から通報が入る。現場を確認したところ損傷したガス管に着火しており消防署が延焼防止措置をしていた。火災現場は消防署が立ち入り規制しており、また特定製造所付近で発生した火災のためガスを遮断するための導管バルブが無い場所であった。 16時58分、消防署からの要請もあり、隣接住宅への延焼防止並びに保安確保の目的で特定製造所内のバルブを閉止してガス供給を停止し、584件が供給支障に至った。

1/19	岡山	建設工事	LPガス	0	空き地において、建設工事業者から「掘削工事中にガスが漏えいした」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、埋設されているPE管(25A)が損傷していることを確認した。 原因は、建設工事業者が、ガス管の埋設位置を販売事業者に事前に照会することなく掘削工事を行ったため、ガス管が埋設されていることを認識しておらず、深さ1500mmに埋設されたPE管にバケットを接触させ損傷したもの。 なお、建設が予定されている建物には、埋設管を敷設した販売事業者とは別の販売事業者がガスを供給する予定であったため、建設工事業者は埋設管が敷設されていることを認識していなかった。
1/28	奈良	改装工事	都市ガス	0	改築業者より「床のコンクリートをカッター切り中、ガス管破損しガス噴出中。消防へも連絡済み。」との通報を受け緊急出動。到着時、警察による前面道路規制中(22:40より前面東西道路、歩道:幅5m×130m、車道片側:17m×130m)。及び消防による火気厳禁などの広報活動が実施されていた。
1/28	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「ガス管破損した。臭気有り。」で受付け、緊急出動。ガス事業者より消防に出動要請を実施。現場到着時騒ぎ等なし。消防にて交通規制実施。(東西道路:幅員5.5m、延長300m) 解体工事業者にヒアリングした結果、解体工事中に掘削機で立管を引き抜いたとのこと。
2/16	千葉	解体工事	都市ガス	0	消防から、解体工事中にガス漏れが発生した旨の通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、解体工事業者が行った建物の解体工事によって、当該敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)が損傷していることを確認した。また、ガス事業者が到着した際に、消防・警察による付近道路(市道:計146m)の交通規制が行われていることを確認した。
2/18	山口	外溝工事	都市ガス	0	家主本人が外溝工事中に敷地内のガス管(灯外内管)をサンダーで切断し漏出したガスに着火したため、水と泥をかけて消火した。
2/21	東京	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者より「水道埋設管の差し替え工事中にラッシュハンマーでコンクリートを掘削した際、ガス供給管に穴をあけ、ガスが漏えいした」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、供給管が損傷していることを確認した。 原因は、水道工事業者が、埋設されていた供給管に誤ってラッシュハンマーで穴を開けたため、供給管よりガスが漏えいしたものと推定される。
2/25	東京	道路工事	都市ガス	0	道路管理者から、道路の空洞調査に伴うボーリング作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧供給管がコアカッターにより損傷されていることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約270mの範囲を交通規制し、車輛の通行に支障をきたした。
2/26	山口	解体工事	LPガス	0	屎尿処理施設において、設備解体業者が、洗浄塔の解体中に塔の一部を落下させたため、露出ガス配管を損傷しガスが漏えいした。 原因は、設備解体業者が作業の際、何らかの要因により解体した設備を落下させたため、露出ガス配管を損傷、ガスが漏えいしたものと推定される。 なお、ガスが漏えいしたが、マイコンメーターにて自動遮断したため、負傷者及び火災は無かった。

2/26	高知	解体工事	都市ガス	0	解体業者が建物解体中、隣家からガス臭いとの通報を受け、ガス事業者が現場に出動。現場到着時、警察が避難の呼びかけを行った。
3/1	京都	改装工事	都市ガス	0	店舗改修工事業者より「土間はつり中ガスを破損、手当てできず」で受付け、緊急出動。消防にて西側工事店舗前の警戒区域設定。駅構内1F西側店舗改装中にガス管破損確認、サービスバルブを閉止(影響戸数2戸)。付近漏えい調査異常なし及び滞留なしを確認、店舗前警戒区域設定解除した。
3/6	佐賀	改装工事	LPガス	0	一般住宅に併設された店舗において、店舗改修工事業者が作業の妨げになることから末端ガス栓を外したところ、ガスが漏えいし、マイコンメーターが遮断した。その後、住宅内の燃焼器を使用した消費者より「ガスが使用出来ない」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、マイコンメーターが遮断していたため、復帰ボタンを操作した際、ガスの漏えい音がした。原因は、店舗改修工事業者がガスの供給を止めることなく末端ガス栓を外した際、ガスが漏えいし、マイコンメーターが遮断したものの。その後、消費者から連絡を受けた販売事業者がマイコンメーターを復帰させたため、再度ガスが漏えいしたものの。
3/6	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事の際、掘削中に道路に埋設してある低圧支管を誤って損傷し、ガスが噴出したことによりガス圧力が低下し供給支障となったもの。
3/7	京都	改装工事	都市ガス	0	道路舗装工事業者より「道路舗装工事中、カッターにてガス管破損。臭気有り」で受付け。緊急出動。現場到着時付近臭気有り、ガス事業者より消防出動要請。消防にて交通規制実施(東西道路:幅員:10.0m、延長150m)した。
3/10	埼玉	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から、漏水修理工事に伴うボーリング調査中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、水道工事業者が行ったボーリング作業によって、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:150mm)が損傷していることを確認した。
3/15	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、店舗内の内装解体工事現場にてガス管(灯外内管:40mm)が損傷していることを確認した。 また、ガス事業者は敷地内の下水枞内にてガスの滞留を確認したことから、安全確保のために消防へ出動要請し、到着した消防にて、付近道路の交通規制を実施した。
3/16	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事に伴う浄化槽の撤去工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ解体工事業者の従業員が敷地内の浄化槽撤去工事に伴う掘削作業の際、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を重機にて誤って引っかけた結果、車道に埋設されていたガス管(供給管:25mm)を損傷したことを確認した。又、ガス事業者は当該現場において強いガス臭気を確認したことから、安全確保のため消防へ出動要請し、到着した消防にて付近道路の交通規制を実施した。
3/17	大阪	舗装工事	都市ガス	0	舗装工事業者より「舗装工事中臭気有り」で受付、緊急出動。他工事における舗装カッター切りでガス管を破損したことを確認し、手当てが出来ないため消防へ出動要請。消防到着及び交通規制開始(東西道路、幅7.3m(歩道1.3m車道)×長さ33m)。掘削し、支管50mm破損部を粘土・テープにて応急手当済。付近漏えい調査異常なしを確認後、消防による規制を解除した。

3/30	福岡	建設工事	LPガス	0	その他店舗において、建設工事業者が玄関扉の取替え工事中に、床のはつり作業を実施していたところ、埋設配管を損傷、マイコンメーターにより遮断しガスが停止した。 原因は、建設工事業者が施工前に埋設配管の位置を確認していなかった為、誤って埋設管を損傷しガスが漏えいしたものの。
3/30	兵庫	建設工事	都市ガス	0	協力工事会社より「電柱工事中、ガス管破損」で受付、緊急出動。現場到着時臭気有り。応急手当できず、消防出動要請。消防到着し、交通規制開始。(南北道路:幅員7.0m、延長60m、東西道路:幅員7.0m、延長90m) 粘土・テープ巻にて応急手当完了。付近滞留ガスなし及び漏えい調査異常なしを確認後、交通規制解除。
3/31	愛知	解体工事	都市ガス	1	建物解体中、解体業者が灯外内管を切断し、漏えいしたガスに着火したもの。着火により1名負傷。
3/31	東京	改装工事	都市ガス	0	改装工事業者から、ガス管を損傷し火災が発生した旨の通報を受付けた。ガス事業者が出動し、調査したところ、改装工事業者が行ったコンクリート破砕作業によって、コンクリート床に埋設されていたガス管(灯外内管:40mm)が損傷し、漏えいしたガスに着火したが、改装工事業者により消火器にて消火済みであることを確認した。 また、消防・警察により当該建物内の計23名の避難措置が行われるとともに、付近道路(区道:計40m)の交通規制が実施された。
4/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、建物解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を重機にて損傷したことを確認した。 また、ガス事業者は広範囲に臭気を確認したことから、安全確保のために消防へ出動要請し、到着した消防にて、付近道路の交通規制を実施した。
4/4	兵庫	舗装工事	都市ガス	0	舗装工事業者より「給水工事に伴う道路面の舗装のカッター切りでガス管破損、噴出中、臭気大」で受付、緊急出動。ガス事業者より消防へ出動要請。ガス事業者保安担当者到着時、臭気有り、消防による交通規制及び避難(10名)を確認。 ガス事業者保安担当者にて供給管32mm継手部のカッター切り破損を確認。粘土・テープ巻にて応急措置実施し、付近の滞留ガス調査結果異常なしを確認し、消防にて交通規制及び避難解除した。
4/6	山梨	建設工事	都市ガス	0	団地内の駐車場増設に伴う事故。建設業者の下請けが監督不在中にバックホーで作業中、PE管に根が絡んだ状態のまま引き上げてしまい破断。当該箇所の工事は木々の伐採伐根から着手し、その際に起こした事故。発生は12時20分。下請け業者が監督に、監督からガス事業者へ12時30分に連絡。ガス事業者社員が現場に駆けつけ、12時50分に特定製造所内のメインバルブにて緊急停止を実施した。その後、構内放送で住人に供給停止を伝え、現場周辺に火を近づけないよう、下請け業者とともに住人に呼びかけた。
4/16	兵庫	掘削工事	都市ガス	0	消防より「通行人より道路臭気。消防出動中」で受付、緊急出動。現場到着時、消防にて交通規制実施済み(東西道路:幅員7.0m、延長100m)。調査の結果、25mm灯外内管継手部を掘削機にて破損し、粘土テープ巻にて応急処置済み。 付近滞留ガスなし確認後、交通規制を解除した。
4/21	兵庫	掘削工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事会社)が、下水道本管取替作業中に掘削機にて、32Aガス管を破損させたことにより、ガスが漏えいした。 他工事業者は、掘削機による舗装面の除去を行った際に、ガス管の位置が不明となったにも関わらず、掘削機による掘削作業を継続したために、破損事故に至った。

4/22	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体工事中ガス管破損、応急措置できず臭気大」で受付、緊急出動するとともに消防に出動要請。現場到着時、消防にて交通規制及び周辺住民の避難広報を実施した。
4/29	滋賀	水道工事	LPガス	0	宅地において、水道工事業者より「ユンボで掘削したところ、埋設されていたガス配管を誤って損傷し、ガスが漏えいした」との通報を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管からガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道工事業者が掘削中に、ユンボで供給管を損傷させたため、ガスが漏えいしたものと推定される。 なお、当該供給管は、建築を予定している戸建て住宅に集団供給するため敷設されていたものであり、先端はプラグ止めされており、工事日より約2ヶ月程前に、販売事業者と水道工事業者は、埋設管の位置等について現地確認を実施していたが、建築予定地に埋設管の表示は無かった。
5/7	東京	解体工事	都市ガス	1	消防から、店舗解体工事中にガス管に着火したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、解体工事業者が当該建物3階の改装に伴う解体工事におけるコンクリート砕り作業の際、コンクリート床に埋設されていたガス管(灯外内管:40mm)を誤って損傷したことを確認した。また、その際に漏えいしたガスに着火し、作業者が負傷すると共に店舗内の天井・電気配線の一部焼損及び電気エアコンを焼損した。
5/9	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事の施工者から、舗装カッター作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧水取り器立管がカッターにより損傷していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約30mの範囲を交通規制し、車両の通行に支障をきたした。
5/15	沖縄	掘削工事	都市ガス	0	建築工事業者が掘削作業においてガス本管(PE管)を重機にて折損した。
5/20	大阪	建設工事	都市ガス	0	新築工事業者より「工事時破損、手当てなし臭気あり」と受付け、緊急出動。新築工事業者より消防への出動を要請。漏えい検査異常なし及び付近滞留ガスなし確認後、交通規制解除した。
5/23	東京	水道工事	都市ガス	2	消防から、ガス管から火が出ているとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、水道工事業者が水道管入替工事に伴う床壊し作業を行っていた際、コンクリートに埋設されているガス管(灯外内管:25mm)を電動工具で損傷したことを確認した。(未照会工事) また、ガス事業者が到着した際に消防・警察により付近道路(区道;約38m)の交通規制が行われていることを確認した。
5/25	北海道	解体工事	都市ガス	0	通行人より「ガス臭い」とガス事業者保安センターに入電があり、解体工事現場にてガス臭を確認。漏えい箇所の特定に時間を要する可能性があったため、ガス事業者より消防機関に出動要請を実施した。 その後、本管バルブの閉止による付近のガス遮断をおこない、初期保安措置を実施した。調査の結果、供給管継手部からの漏えいであることを確認した。
5/26	大阪	建設工事	都市ガス	0	建築工事業者より「マンション敷地内の自転車置場設置工事時、コア抜き作業中にガス管破損、手当てできず」で受付け、緊急出動。消防現場到着後、交通規制開始。(交通規制区間・北側東西道路:幅員4.2m、延長50m)共用内管(50mm被覆鋼管)継手部をコア抜きドリルにて破損)サービスバルブ閉止にて応急措置済み。付近漏えい検査異常なし、及び滞留ガスなし確認後に交通規制解除。

5/27	神奈川	下水工事	都市ガス	0	設備工事業者から連絡を受けた協力企業から、設備工事業者がコンクリート掘削工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。当該設備工事業者が新築工事の汚水配管工事に伴うコンクリート掘削作業の際、埋設されていたガス管(灯外内管:30mm)を電動工具にて誤って損傷したことを確認した。また、当該設備工事業者の作業員は応急措置のため、損傷したガス管の周辺を更に掘ろうとした。その際、漏えいしたガスに着火し、汚水管の一部を焼損した。
5/28	埼玉	改装工事	都市ガス	1	リフォーム工事業者から、リフォーム工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、リフォーム工事業者が取外し済のガスメーター1次側のガス管(灯外内管:25mm)を電動工具で損傷したことを確認した。また、その際に漏えいしたガスに着火し、リフォーム工事の作業員1名が負傷した。
6/1	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。出動したところ解体工事業者の作業員が敷地内に埋設されていたガス管を重機にて誤って引っ掛けた結果、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:32mm)並びに道路に埋設されていたガス管(供給管:25mm)を損傷したことを確認した。また、道路上マンホールにてガス検知器反応を確認したことから、安全確保のため消防へ出動を要請し、到着した消防が付近道路(国道:50m)の交通規制を実施した。
6/3	愛知	建築工事	都市ガス	0	他工事業者が門扉の取り付け工事中に誤って灯外内管を損傷し、ガスが噴出したもの。噴出したガスが建物(幼稚園)内部に流入したため、当該建物内の園児及び職員(計49名)が避難した。なお周辺は、ガス事業者からの要請、当該他工事業者からの通報を受けた消防により交通規制が行われた。
6/6	東京	下水工事	都市ガス	0	雨水枡設置工事の際、掘削中に道路に埋設してある低圧供給管を誤って損傷し、地下水がガス管内に流入して供給支障となった。
6/9	東京	掘削工事	都市ガス	0	構内整備工事に伴う地盤改良工事の施工者から、シートパイル打設作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出動。現場確認の結果、中圧本管がシートパイルにより損傷されている事を確認した。また、消防・警察が安全確保のため、付近道路約100m(南北道路約60m、東西道路約40m)の範囲を交通規制し、歩行者の往来並びに車輛の通行に支障をきたした。
6/9	京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内の解体工事時にガス管を破損。手当てができていない。」との通報を受け、ガス事業者より緊急出動、掘削機による不使用の灯外内管(25mm、塩化ビニルライニング鋼管:不明管)の管体部破損を確認した。また、消防にて交通規制を実施した。
6/10	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受けた。解体工事業者が当該敷地内の擁壁解体工事中に、ガスが通じているガス管(灯外内管:25mm)を誤って損傷したことを確認した。また、到着した消防により付近道路(市道:180m)の交通規制が実施された。
6/12	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、敷地内の解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、解体工事業者が行った立体駐車場の解体作業によって、立体駐車場近傍に埋設設置されていたガス管(灯外内管:75mm)が損傷していることを確認した。
6/16	奈良	掘削工事	都市ガス	0	協力工事会社から「調査現場付近で、ガス臭気あり。」との通報を受け、ガス事業者より緊急出動、掘削機による不使用供給管(32A:アスファルトジュート巻き鋼管:不使用管)の取出し部付近にて継手部破損を確認した。出動要請を受けた消防にて交通規制を実施した。

6/18	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事の施工者から、水道管切断作業中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受付け出勤。現場確認の結果、中圧本管が切断用カッターにより損傷されていることを確認した。出勤した消防・警察が安全確保のため、付近道路約200m(東西道路約100m、南北道路 約100m)の範囲を交通規制し、車輛の通行に支障をきたした。
6/20	福岡	改装工事	都市ガス	1	約17年以上前にオール電化に切替わった住宅で、オール電化への移行時に需要家への説明と打ち合わせの上で閉栓作業(メーターガス栓の閉止、ガスメーター撤去、立管へのプラグ止め)を行い、閉栓エフの設置と需要家への活管残存の周知を行った。 今般このオール電化住宅において、リフォーム業者により需要家メーターが取り外してある状態の活管である灯外内管メーター立管の露出部を、電動カッターにて切断作業を行ったためガス漏えい、切断火花により着火し火災に至った。
6/23	大阪	解体工事	LPガス	0	解体中の一般住宅(空家)において、近隣の住宅内でガス警報器が鳴動したため、販売事業者が調査したところ、屋外の下水管において、ガスの滞留を検知したため消防に通報した。 原因は、前日の建物解体工事において、建物解体事業者が掘削中、敷地内に残されていた埋設供給管の立ち上がり管を重機で引き抜き、供給管及び供給管継手部分を損傷したため、漏えいしたガスが何らかの要因により下水管へ流入したものと推定される。 なお、当該住宅は、数年以上前に戸建て集団供給でLPガスを使用していたうちの戸であったが、都市ガスへの切替時にガスメーターのみが撤去され、埋設供給管立ち上がり管の先端がプラグ止めされた状態で残っていたため、建物解体業者は埋設供給管に気付いていなかった。
6/23	大阪	外構工事	LPガス	1	一般住宅において、付近の住民から火災の通報を受け、消防及び販売事業者が出動したところ、コンクリートと一緒に持ち上げられた供給管と住宅の一部が焼損し、外構工事業者1名が重症を負ったことを確認した。 原因は、外構工事業者がガレージ部分のコンクリート張り替えのため、重機でコンクリートを引きはがしたが、誤って埋設された供給管をコンクリートと一緒に持ち上げ損傷したため、ガスが漏えい、その後の応急処置をしようと、電動工具(電動式削岩機)で、供給管とコンクリートを引き離そうとしたことで、漏えいしたガスに引火し火災が発生したものと推定される。 なお、当該住宅はオール電化であったが、以前は戸建て集団供給でLPガスを使用しており、切替時にガスメーターが撤去され敷地内に埋設供給管のみ残されていたため、建物解体業者は埋設供給管に気付いていなかった。
7/3	愛知	改装工事	都市ガス	0	オール電化住宅のため平成21年にメーター及び灯外内管を撤去、撤去費用がかかる事、将来ガスの使用の可能性もある事から、了解をもらい、メーターとその周辺の配管のみ撤去し、地中からの立ち上がり配管はプラグ止めをした状態で残してあった。 今回リフォーム工事のため、工事業者がまだ残っていた灯外内管を切断し、ガスが漏えい、漏えいしたガスに引火し外壁を一部焦したが、工事業者によりすぐに火は消し止められる。
7/4	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受付け、出勤したところ、解体工事業者がガス管の貫通している土中埋設の基礎を重機にて引っ張り上げたことで敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管;25mm)並びに車道に埋設されていたガス管(供給管;25mm)を損傷したことを確認した。また、到着した消防により付近道路(区道;35m)の交通規制が実施された。

7/4	京都	水道工事	都市ガス	0	水道工事の事前掘削中に「誤ってガスパ管を持ち上げ、ガス臭がする」とのことで受付・出勤。現場到着時、ガス臭気有り。100m本管の管末部分を誤って重機で持ち上げたとのことで、土中部分での折損の可能性があったため、応急措置として管末部分よりガスバック挿入の上、漏出ガスを遮断した(管体露出なし、管末プラグ部分のみ露出)。同時に付近マンホール内への滞留ガス調査を行うも、直近数ヶ所のマンホール内にガス反応を検知したため、マンホール蓋の開放及び防爆排風ファンにより継続的に換気作業を実施した。
7/5	神奈川	掘削工事	都市ガス	0	需要家からのマイコンメーター作動での対応依頼で出勤した際、供給支障の疑い通報を受理。調査の結果、供給支障を確認。原因は差し水と判断する。低圧支管の腐食によるが、他工事等により塗覆装が損傷されていたことが原因と推定。
7/6	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、ガスパ管を切ってガス臭いとの通報を受け、出勤したところ、当該解体工事業者が建物2階の店舗改装に伴う解体工事作業中に、床上に設置されていた当該店舗に隣接する店舗用のガスパ管(灯外内管:25mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 また、消防及び警察による付近道路(区道:120m及び0m)の交通規制の実施、並びに当該建物の計31名の避難誘導が実施されていた。
7/8	北海道	草刈作業	都市ガス	0	他工事業者による草刈り作業中に、立上りの可とう管を誤って草刈り機の刃で損傷、ガス漏れが発生した。
7/8	東京	電気工事	都市ガス	0	電気工事の施工者から、舗装カッター作業中に誤ってガスパ管を損傷したとの通報を受け出勤。現場確認の結果、低圧供給管がカッターにより損傷されている事を確認した。 出勤した消防・警察が安全確保のため、付近道路約71m(国道歩道部 約11m、区道車道部 約60m)の範囲を交通規制し、歩行者の往来及び車両の通行に支障をきたした。
7/9	和歌山	掘削工事	都市ガス	0	他工事業者から「造成工事現場で、ガス臭気あり」と通報を受け、和歌山支社より緊急出勤。 掘削機による導管(敷地内:25A、塩化ビニルライニング鋼管)の破損を確認した。 消防にて交通規制を実施した。
7/9	東京	建設工事	都市ガス	0	消防から街路灯取替え工事の施工者が基礎壊し作業中に誤ってガスパ管を損傷したとの通報を受け出勤。現場確認の結果、低圧支管が電動プレーカーにより損傷されている事を確認した。 通報により出勤した消防・警察が安全確保のため、付近道路約42mの範囲を交通規制し、車輛の通行に支障をきたした。
7/10	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者からガスパ管を損傷したとの通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が建物解体工事作業中に、重機にてガスパ管(灯外内管:25mm)を損傷したことを確認した。 また、現場に到着した消防により付近道路の交通規制が実施された。
7/12	東京	改装工事	都市ガス	0	リフォーム工事業者から台所キャビネット内より火が出たとの通報を受け付けた。出勤したところ、ガスこんろを使用しようとした際に、漏えいしたガスに着火し、台所キャビネット内部の一部が焼損したことを確認した。
7/14	沖縄	水道工事	都市ガス	0	水道閉止作業中の作業員より建物解体現場でガス臭がするとの通報があり当該事業者が調査したところ、ポンペ庫から出た配管(PLP100A)を、他工事による建物解体中に破損、ガスが噴出していた。

7/15	宮城	整地工事	都市ガス	0	事故付近の住人から消防署へガス臭いと通報あり出動。消防署員が灯外内管の破損によるガス漏洩を発見した。事故敷地内で工事業者が整地中にバックホーで埋設PE管を破損しガス漏れが発生。
7/15	和歌山	水道工事	都市ガス	1	消防より火災通報を受け緊急出動、他工事業者が水道工事中、電動ブレーカーによりコンクリート壊し作業を行っていたところ、誤って支管を損傷してガスが漏出し引火した。消防にて付近住民3名を避難誘導、及び現場周辺道路の交通規制を実施。付近滞留ガスなしを確認後、消防にて交通規制及び避難解除した。
7/16	東京	建設工事	都市ガス	0	建築工事業者から掘削作業中にガス管を引き抜いたらガス臭いとの通報を受け、出動したところ、当該建築工事業者が敷地内での掘削作業中に重機にて埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を損傷したことを確認した。また、到着した消防により付近道路(区道:114m)の交通規制が実施された。
7/21	兵庫	解体工事	都市ガス	0	解体業者から「ガソリンスタンド解体工事中、破損し手当てできず」との通報を受け、ガス事業者より緊急出動、灯外内管30mmポリエチレン管管体部の破損を確認した。ガス事業者社員にてバック挿入を行い応急処置実施。不使用管のため切断、プラグ止めにて復旧完了。消防にて交通規制を実施した。
7/24	大阪	舗装工事	都市ガス	0	道路舗装工事業者から「舗装工事に伴うカッター切口中、ガス臭気有り。」との通報を受け、ガス事業者より緊急出動し、カッター切口中の供給管(25mm:アスファルトジュート巻き鋼管)破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。
7/28	茨城	掘削工事	都市ガス	0	消防から空き宅地でガス漏れしているとの通報を受け、出動し調査をしたところ、地主が空き宅地の駐車場化工事を行っている際、バックホーでガス管(灯外内管:30mm)を損傷していたことを確認した。また、消防・警察による安全確保のため、付近道路約60mの範囲を交通規制していることを確認した。
7/29	大阪	掘削工事	都市ガス	0	地盤改良工事業者から「造成地の地盤改良工事中ガス管破損ガス噴出あり。」との通報を受け、不使用の灯外内管(32mm、塩化ビニルライニング鋼管:不使用管)の管体部破損を確認した。
7/31	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者からガス管を損傷したとの通報を受け、出動したところ、解体工事業者が解体工作業中に、敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:25mm)を重機にて引っ掛けた結果、車道に埋設されていたガス管(供給管:25mm)を損傷したことを確認した。
8/1	佐賀	下水工事	LPガス	0	私道において、水道工事業者より「埋設供給管を損傷した」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管が損傷し、ガスが漏れいしていることを確認した。原因は、水道工事業者がパワーショベルを埋設供給管に引っかけたため損傷し、そこからガスが漏れ出したもの。なお、当該埋設管の先にある住宅は、オール電化住宅でありガスを使用していなかった。
8/3	大阪	下水工事	都市ガス	2	排水業者から「敷地内で排水工事中にカッター切りにてガス管を破損。ガスが噴出している。」との通報を受け、出動したところ、応急手当をしようとした排水業者作業員が電動ブレーカーを使用した際、着火し負傷したことを確認した。
8/3	大阪	建設工事	都市ガス	0	建築業者から「敷地内駐車場のはつり工事時にガス管を破損。手当てができない。」との通報を受けガス事業者より緊急出動、灯外内管(25mm、塩化ビニルライニング鋼管)の管体部破損を確認した。
8/4	京都	建設工事	都市ガス	0	耐震工事業者から「1F駐車場付近をはつり中にガス管を破損。破損部を土でかぶせた。」との通報を受けガス事業者にて緊急出動、ブレーカーによる灯外内管(共用内管80mm、ポリエチレンライニング鋼管)の管体部破損を確認した。

8/6	大阪	建設工事	都市ガス	0	建築工事業者から「カッター切りにてガスを破損、臭気あり。」との通報を受けガス事業者より緊急出動、灯外内管(32mm、アスファルトジュート巻き鋼管)の管体部破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。
8/10	宮城	建設工事	都市ガス	0	消防よりガス事業者に対し、「空地内にあるガス管が草刈作業の際に損傷されたようだ。」との連絡があり出動した。現場到着後調査の結果、風雨や人的など何らかの原因で一部露出していたガス管を、他工事事業者の作業員が作業中に草刈機で損傷したことを確認した。
8/10	東京	改装工事	都市ガス	0	改装工事業者から、ガスを損傷したとの通報を受け、出動したところ、当該改装工事業者が1階店舗改装工事中に、床に露出されていたガス管(灯外内管:32mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 また、消防・警察により付近道路の交通規制が実施されていることを確認した。
8/11	東京	建設工事	都市ガス	0	建築工事の施工者から基礎工事中に誤ってガスを損傷したとの通報を受け出動。現場確認の結果、低圧支管が掘削機により損傷されている事を確認した。 出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約25mの範囲を交通規制し、車両の通行に支障をきたした。
8/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	協力工事会社から「敷地内解体工事中にガス管破損。」との通報を受け、不使用の灯外内管(15mm、アスファルトジュート巻き鋼管)の掘削機による破損を確認した。協力工事会社にて粘土・テープ巻きを行い応急措置を実施。消防にて交通規制を実施した。
8/19	東京	水道工事	LPガス	0	道路において水道工事業者が給水管交換工事に伴い掘削作業中、埋設供給管(PE管25A)に重機を接触し、埋設供給管よりガスが漏れ出した。 原因は、当該水道工事業者が掘削作業を実施する以前に、販売事業者による埋設供給管の配管図面の提供及び現場での供給管のルート説明が行われていたが、当該水道工事業者内での打合せ不足により供給管の位置を把握していなかった、若しくは作業員の不注意により、掘削作業時に重機が埋設供給管に接触させたものと推定される。
8/20	神奈川	建設工事	都市ガス	0	電柱工事の施工者から、電柱支線工事時に誤ってガスを損傷したとの通報を受け出動。現場確認の結果、低圧支管がアースオーガーにより損傷されている事を確認した。 消防・警察が安全確保のため、付近道路約280mの範囲を交通規制し、車両の通行に支障をきたした。
8/20	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事の施工者から、シートパイル打設作業中に誤ってガスを損傷したとの通報を受け出動。現地調査の結果、低圧供給管がシートパイルにより損傷されており、ガスが噴出したことによりガス圧が低下し、マイコンメーターが作動している事を確認した。 安全確保のため、ガス事業者にて引込み管ガス遮断装置を閉止したことにより供給支障となったもの。
8/26	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガスを損傷したとの通報を受け出動したところ解体工事業者が敷地内の整地作業の際、敷地境界近傍部にて切断済の埋設されていたガス管(灯外内管:32mm)を重機にて引っ掛けた結果、車道に埋設されていたガス管(供給管:32mm)を損傷したことを確認した。また、到着した消防にて付近道路の交通規制を実施した。
8/26	福岡	下水工事	都市ガス	0	下水側溝入れ替え工事のため既設側溝を取り壊し中、ガス本管200mmをコンクリート破砕機にて破損した。漏れ出したガスによる二次災害を防止するため出動した警察、消防により交通規制(歩車道全面通行止め)を実施した。

8/27	大阪	下水工事	都市ガス	0	協力工事会社から「下水工事中、掘削内にてガス臭気有り。」との通報を受け、ガス事業者より緊急出動し、下水推進工用立杭築造工事(Lモール工法)にて供給管(30mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。
8/31	京都	建設工事	都市ガス	0	警察から「新築工事現場でガス臭気あり。」との通報を受け、ガス事業者より緊急出動、灯外内管(30mm、ポリエチレン管)の継手部破損を確認した。また、消防にて交通規制を実施した。
9/8	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事会社から「解体工事中にガス管破損し着火した。」との通報を受け、ガス事業者緊急出動、不使用の灯外内管(25mm、アスファルトジュート巻き鋼管)の掘削機による破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。
9/14	東京	建設工事	都市ガス	0	再開発工事における覆工築造工事の施工者から、覆工内の臭気によるガス漏れ通報を受付け出動。現場確認の結果、低圧供給管が損傷されている事を確認した。 出動した消防・警察が安全確保のため、付近道路約260m(東西道路、ヤ130m、南北道路約130m)の範囲を交通規制し、歩行者の往来及び車輛の通行に支障をきたした。
9/15	大阪	下水工事	都市ガス	0	下水工事業者から「下水工事中、カッター切りにてガス管破損。」との通報を受け、緊急出動、供給管(32mm、アスファルトジュート巻き鋼管)のカッター機による破損を確認した。消防にて交通規制を実施した。
9/16	宮城	外溝工事	都市ガス	1	側溝の中に建っていた電話柱の抜柱工事(1週間前施工)後の側溝補修中、作業員が既設側溝をハンドピック(電動)にて破砕していたところ、側溝直下に埋設されていた供給管(境界プラグ止め済み)を破損。漏えいしたガスにコンクリートはつり時の火花又はハンドピックのモーター部の火花により着火し、当該作業員が鼻と頬に火傷を負った。
9/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がコンクリート圧砕機で灯内内管を破損・着火(火災認定なし)。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
9/26	埼玉	水道工事	都市ガス	0	他工事(水道工事)業者による本支管損傷に伴う供給支障。人損なし。消防・警察出動なし。報道無し。
9/26	千葉	増築工事	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は他工事による。
9/28	愛知	改装工事	都市ガス	0	他工事業者は、ガス管撤去工事前に建物改装工事に着手し。床コンクリートのはつり作業の際にガス管(灯外内管)を損傷させた。当該管から漏えいしたガスが建物内に滞留したため、排風作業を実施。その間、付近道路の通行規制を実施し、公共交通の運行支障を来した。
9/30	神奈川	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したのと連絡を受け、緊急部署が訪問したところ、建物の外壁が一部焦げていた。工事業者によると、水道工事のためコンクリートカッター使用中誤って灯外内管を切断し、漏えいガスに着火したため消火したとのこと。
10/3	大阪	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)が敷地内の立坑から道路の下水マンホールに向けて推進工事中、中圧ガス管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
10/7	大阪	舗装工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がバックホウで支管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。

10/8	岐阜	解体工事	都市ガス	0	建物解体工事において他工事業者が露出した灯外内管をサンダーで切断し、ガスが漏えい。 付近住民7名の避難を実施したほか、周辺道路の通行規制を行った。
10/12	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)がバックホウで支管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
10/13	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体工事中の一般住宅において、解体事業者より「パワーショベルで配管をひっかけ傷つけてしまった。配管の先端を曲げて金具のようなものでしばりつけている」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、配管が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者は、埋設供給管の有無を販売事業者へ確認していなかったため、誤って、解体工事中にパワーショベルで埋設供給管を損傷させ、損傷部分からガスが漏えいしたものと推定される。
10/18	京都	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(新築工事業者)が基礎鉄筋打ち込みの際灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
10/19	東京	建築工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
10/20	大阪	舗装工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がバックホウで支管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。 人損・他の物損なし。なお、事前協議はあったが、協議とは別箇所で施工したものの。
10/21	奈良	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。なお、事前協議があったが、現地立会の前に着工したことによる。また、破損したガスは図名に載っていない不使用不明管であった。
10/21	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管で損傷を確認。原因は解体工事中に不使用灯外内管を誤って損傷したものの。
10/23	東京	電柱工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
10/24	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
10/27	京都	土質調査	都市ガス	0	他工事業者(地盤強化工事業者)がハンマードリルで灯外内管を破損。ガス事業車が緊急出動し、ハンマードリルでの破損を確認後、特装バルブを閉止した。

11/7	富山	建設工事	LPガス	1	一般住宅用地において、他工事業者の作業員が宅地下水道工事のため、公共枡直近を重機(バックホウ)で掘削した際に、埋設供給管を損傷した。その後、当該作業員が応急措置のため掘削穴に入ったところ酸素欠乏で意識を失い、同僚に発見され救急車で搬送されたが、約9時間後に死亡した。 原因は、当該作業員が、埋設供給管の表示に気づかず、重機で誤って当該供給管を損傷させたこと、また、損傷部よりガスが漏えいし、掘削穴にはガスが滞留している状態であったが、応急措置(テープ巻)を行うため慌てて掘削穴に入り、酸素欠乏となったことによるもの。 なお、当該他工事業者は、販売事業者に対して、ガス管の埋設の有無、その配置及び使用状況についての確認作業を実施しておらず、工事の際の立ち会いを依頼していなかったとのこと。
11/7	京都	下水工事	LPガス	0	戸建住宅に集団供給(全29戸)を行っている団地内において、下水道工事業者が掘削作業中に、埋設供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者の作業ミスにより、重機で当該供給管を損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。 なお、販売事業者は、当該工事の施工に当たり、当該工事業者の責任者と事前打ち合わせを6回行い、図面での配管確認及び道路への配管位置マーキングも行っていたが、現場の作業員が工事作業を慎重に進めていなかったことが考えられる。
11/9	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで供給管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。なお、事前協議があつたが、破損したガス管は図面に載っていない不使用不明管であった。
11/9	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がバックホウで灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。人損・他の物損なし。不使用管につき取出し部でプラグ止めし修繕完了。なお、事前協議があつたが、破損したガス管は図面に載っていない不使用不明管であった。
11/12	広島	解体工事	都市ガス	0	ビル解体現場にてガス臭がするとの通報をうけ、事業者が緊急出動。ガス供給管の切断作業(舗道部分を掘削)を開始した。
11/13	奈良	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がバックホウで供給管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制及び周辺住民(10名)の避難を実施した。
11/24	東京	電気工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電気工事)によると考えられる。
11/26	福岡	掘削工事	LPガス	0	道路において、電気工事業者より「電柱工事の際、道路掘削作業中に埋設供給管を損傷した」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、電柱工事業者が施工前に埋設供給管の有無を確認していなかったため、重機で誤って埋設供給管を損傷させ、損傷部からガスが漏えいしたものの。
11/26	沖縄	土木工事	都市ガス	0	他工事の重機によりガス管を破損しガス漏えい。破損箇所上流部のボールバルブを閉栓し、下流部への供給支障発生。
11/26	奈良	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(建柱工事業者)が本管を破損、特定製造所のバルブ閉止により全戸(57戸)で供給停止(支障)。
11/27	大阪	駐車場等工事	都市ガス	0	灯外内管の腐食漏れにより、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
11/30	愛知	下水改修工事	都市ガス	0	敷地内工事にて、コンクリートはつり中、灯外内管を損傷。ガス事業者にて当該建物の引込管バルブを閉止し、合計43件の供給支障が発生。

12/1	千葉	駐車場等 工事	都市ガス	0	他工事業者からガス管を損傷、ガス臭気ありとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると敷地内駐車場でコンクリート切断中にガス管を損傷したとのこと。
12/1	徳島	下水改修 工事	都市ガス	0	他工事業者から、ガス管を損傷しガス臭気ありとの通報があり出動したところ、団地道路埋設の導管が損傷していた。ポンベ庫で遮断したため全戸供給停止。
12/2	大阪	建物建築 工事	都市ガス	0	他工事業者(外構工事業者)がコア抜き作業で灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
12/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで本管を破損。消防により周辺道路の交通規制を実施した。また、ガスバック挿入によりガス遮断を行ったため、付近128戸の供給支障が発生した。破損箇所を入替え、復旧完了。なお、事前照会があったが、ガス管の移設工事が完了したものと他工事業者が誤認し、ガス事業者に連絡なしに掘削したもの。
12/9	千葉	改築工事	LPガス	0	一般住宅において、リフォーム工事業者が、敷地内表層のコンクリートを電動サンダーで削る作業をしていたところ、埋設供給管からガスが漏えいし、ブロック塀の一部を損傷、排水管の一部を溶解した。 原因は、リフォーム工事業者が、敷地内に埋設供給管が残されていたことを認識しておらず、電動サンダーによる作業中に、誤って埋設供給管を切断したため、ガスが漏えいして着火し、電動サンダーの火花が引火したもの。 なお、ガス供給切替時の新旧販売事業者間の協議により、切替前の供給管を露出部分で閉栓処理を行っていたため、埋設供給管は敷地内に残されたままになっていた。
12/14	埼玉	整地・造成 工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(道路工事)によると考えられる。
12/18	大阪	建物改修・改 装工事	都市ガス	0	他工事業者(内装解体工事業者)がブレーカーで灯外内管を破損、消防・警察により周辺道路の交通規制を実施した。
12/19	福井	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がグラインダーで灯外内管(立管)を切断し、ガスが噴出した状態で付近の水道管(塩ビ管)をグラインダーで切断し、着火・炎上。
12/21	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで供給管を破損、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
12/22	福井	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がブレーカーで灯外内管を破損、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
12/22	兵庫	建物建築 工事	都市ガス	0	他工事業者(新築工事業者)がオーガーで支管を破損、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
12/24	大阪	建物改修・改 装工事	都市ガス	0	他工事業者(改装工事業者)がサンダーで灯外内管を破損、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
12/26	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事会社から舗装カッター施工中ガス臭いとの通報があり出動したところ、ガス臭気があることから消防出動要請を行った。原因は水道工事に伴う舗装カッター施工中に供給管25mmを損傷したもの。

平成28年の建設工事等におけるガス管損傷事故

(平成28年11月末現在)

※速報のため、内容が変わる可能性があります。

発生日	都道府県	工事種別	ガス種別	人的被害	事故概要
1/16	福岡	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者からユンボで掘削中にガス管を損傷したとの連絡を受け出動したところ、ガス管(本支管:ポリエチレン管)が損傷しガスが噴出していた。当該箇所は、地下水により水没していたため処置できない状態のため全戸(127戸)のガス供給を停止した。停止後、地下水を除去して損傷箇所をペトラタムテープで応急処置し、ガス供給を再開した。その後、当該箇所のガス管がループ管であったため、ガスの供給を止めずに損傷部分の取替工事を行った。
1/16	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管らしきものを損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。
1/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が灯外内管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。破損箇所上流側で切断、プラグ止め。なお、他工事業者から事前連絡があったが、事前着工したもの。
1/19	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
1/22	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者からガス管を損傷したとの連絡を受け、訪問したところ、灯内内管から漏えいし、床下の根太及び電気ケーブルが焦げていた。工事業者によると、原因は他工事(改装工事)で、ガス管と思わず切断したところ漏れたガスに着火したため、消火したとのこと。
1/23	兵庫	道路舗装・改修	都市ガス	0	他工事業者(舗装工事業者)がカッターで供給管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
1/25	岐阜	解体工事	都市ガス	0	更地(建物解体工事が施された箇所)に埋設されている灯外内管よりガスが漏えいし、警察・消防にて周辺道路の交通規制を公共交通機関の運行支障を招いたもの。当該箇所に何らかの車両等が入り、埋設(土被5cm)されている灯外内管の上のつたため、埋設接合部が折損したものと推測。
1/31	京都	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が道路掘削作業中、集団供給(20戸)の埋設供給管(ジュート巻き白管32A)に重機を接触させ、当該供給管よりガスが漏えいた。水道工事業者はタオルとビニールテープを巻き付ける応急措置を施し、販売事業業者に連絡をした。連絡を受けた販売事業者は現場に出動し、破損箇所から下流の供給先(3戸)に対して仮設容器による供給を行うため、個別仮設供給設備工事を実施した。また、水道工事業者による水道管の補修工事完了後に、バイパス工事により設置した埋設供給管を本管に接続し、仮設供給設備の撤去を実施した。原因は、当該水道工事業者が掘削作業を実施する際に埋設供給管の存在を把握していたが、作業員の不注意により損傷させたもの。
2/1	滋賀	改修工事	都市ガス	0	顧客がツルハシで灯外内管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/1	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がニブラで灯外内管を破損。引き込み管遮断バルブ閉止したため供給支障(62戸)。
2/2	京都	解体工事	LPガス	0	集合供給の閉栓先(戸建)の宅地内において、解体事業者が、家屋の解体工事を行っていたところ、コンクリートの塀を倒しガス管(供給管)の立ち上がり部を下敷きに、ガス管が折損しガスが漏えい、折損部から50cm程度の火が上がった。原因は、解体事業者がコンクリート塀の解体中、誤ってガス管の立ち上がり部分を折損させ、ガスが漏えいしたが、漏えいに気付かず、電動切断機でコンクリート塀を分断したため、当該切断機の火花が漏えいしたガスに引火したもの。
2/3	山口	解体工事	LPガス	0	集合供給の団地において、下水工事業者が道路掘削中、パワーショベルで誤ってガス管(PE20A)を損傷させ、ガスが漏えいた。原因は、下水工事業者が、岩盤を取り除く際に、ガス管(PE20A)が見えていたにもかかわらず、手掘りをせずパワーショベルを使用し、操作ミスによりガス管を損傷させ、ガスが継続して漏えいた。

2/3	京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(内装工事業者)がカッターで灯内内管を破損し、ガスに着火・炎上(消防により消火。火災認定あり)。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/5	京都	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガス漏えいしたため、消防により周辺道路の交通規制及び付近住民(1名)の避難を実施した。破損箇所修理完了。他工事業者から事前照会があり、現地立会していたが、官民境界付近の部分的な浅埋ガス管(0.3m)を破損したものの。
2/8	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によるものと考えられる。外面修理テープ巻き措置済み。
2/18	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで灯外内管(継ぎ手部)の破損し、ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/20	群馬	解体工事	LPガス	0	戸建て住宅へ集団供給(全30戸)している地区において、解体工事業者が建物解体工事中に重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、誤って埋設配管に重機を接触させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。 なお、埋設管表記の札が劣化しており、埋設配管の位置が不明瞭であった。
3/3	滋賀	水道工事	LPガス	0	空き地において、水道管工事業者よりガスを漏えいさせたとの連絡を受け、販売事業者が出動したところ、容器庫からの埋設供給管の引込み管(ポリエチレン管25A)よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道管工事業者が、工事の掘削中において、重機を誤って当該引込み管を損傷させたため、ガスが漏えいしたものの。 なお、本工事の実施に際し、事前に水道管工事業者と販売事業者は、工事内容の協議及び埋設配管の試掘を実施していた。 又、当該水道管工事業者は以前(平成27年4月29日)にも、同様の事故を起こしており、販売事業者も今回の事故と同じ事業者であった。
3/5	東京	改装工事	LPガス	0	共同住宅において、土木工事業者より「コンクリート内に埋まっていたガス管(白管)に穴をあけてしまった」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、パイプシャフト内埋設配管が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、土木工事業者が当該住宅内のはつり工事中に、誤って機器などで埋設配管に穴をあけたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。
3/5	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。引込み管ガス遮断装置閉止により供給支障が発生。工事業者によると原因は他工事(改装工事)によるものと考えられる。
3/7	宮城	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「ガスの使用が出来ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、バルク供給設備の安全装置が作動しガスの供給が停止していることを確認した。 原因は、埋設管水道工事をしていた水道工事業者より供給管の撤去依頼を受けた都市ガス事業者が、誤って当該埋設供給管の緑切・撤去工事を行ったもの。
3/18	兵庫	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(改装工事業者)が灯外内管を破損し、ガス漏えいしたため、警察により周辺道路の交通規制を実施した。また、引き込み管遮断バルブ閉止したため供給支障が発生した。
3/25	京都	電気工事	都市ガス	1	他工事業者(電気工事業者)が電子サーボソーで灯内内管を破損し、着火(火災)。他工事業者1名が軽度の火傷。
3/26	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホウで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
3/26	東京	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がコア抜きをしたところ灯外内管を破損し、ガス漏えい。引き込み管ガス遮断装置を閉止したことにより53戸供給支障。
3/28	北海道	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が建物解体作業中に一時閉止していた灯外内管を損傷し、ガスが漏えいした。当該漏えい箇所のカッ止めを行い、周辺調査で異常がないことを確認した。その間、交通規制がされたもの。
3/31	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によるものと考えられる。

4/1	栃木	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していたため、特定製造所において供給を停止した。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
4/6	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
4/6	栃木	下水工事	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)によると考えられる。
4/7	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(地盤改良工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(44名)の避難が実施された。
4/8	埼玉	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防署から工事業者がガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(改装工事)によると考えられる。
4/11	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
4/13	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)による不使用灯外内管引張りによる供給管損傷と考えられる。
4/18	岡山	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、下水工事業者が、敷地内のコンクリート部を掘削中に、使用していたハツリ機により、埋設管(PE管25A)を損傷させガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が敷地内の埋設管を認識していなかったことにより、誤って損傷させたもの。 なお、当該建物管理会社から工事に係る連絡はなかった。 (バルク貯槽298kg×1基)
4/18	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(地盤改良工事業者)が地盤調査に伴うボーリングで不使用灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(13名)の避難が実施された。
4/19	長崎	下水工事	都市ガス	1	工事業者が住宅敷地(オール電化)内で下水工事中にコンクリートカッターでPE管(灯外内管のキャップ)を損傷し、ガスが噴出し、着火して工事作業員1名が右手の甲に火傷(軽傷)を負った。
5/2	兵庫	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がハンマードリルで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/11	静岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が水道メーター交換作業中に、ガスが漏えいした。 原因は、水道工事業者が当該埋設管を認識していなかったことにより、誤ってカッターで埋設供給管を損傷させたもの。 なお、販売事業者によると、水道工事業者から工事前の確認はなかったとのこと。
5/13	東京	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられ、供給支障が発生した。
5/21	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/25	京都	道路舗装・改修	都市ガス	0	他工事業者(道路復旧業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/26	東京	下水工事	LPガス	0	下水工事業者が、埋設管を誤って損傷させ、ガスが漏えいした。
5/27	東京	その他改修工事	都市ガス	0	汚水樹工事会社から、敷地内で汚水樹の工事中にガス臭くなったとの通報受付。事業者到着時ガス臭気有。安全確保のため引き込み管ガス遮断装置を閉止。60戸の供給支障が発生した。
5/30	新潟	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が、集団供給設備に隣接する家屋の解体作業中に、埋設供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該集団供給設備を停止し個別供給とする際、当該家屋の敷地内の埋設部で切り離したため、埋設供給管が残っていたが、解体工事業者は認識しておらず、誤って重機等で当該供給管を損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。

5/31	愛知	下水改修工事	都市ガス	0	敷地内の下水工事中、他工事業者が塗装の切断工事の際に、灯外内管を誤って切断。漏えいしたガスに着火し、小屋内の壁を損傷したものの。
6/1	山形	電柱設置工事	都市ガス	1	他工事業者(電気設備)が電柱設置工事中に供給管を損傷し、ガスが漏えいしたもの。加えて、復旧工事中、ガスに引火し、作業員1名が軽傷(火傷)を負ったもの。
6/2	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が油圧クラッシャーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/6	京都	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/6	兵庫	下水改修工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がコンクリートブレーカーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、供給支障が発生した(48戸)。
6/8	福岡	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者によりガス管損傷の連絡を受けガス事業者が出動。電柱工事によるガス支管(口径50mm)の損傷により、39戸が供給支障となった。
6/15	千葉	電柱設置工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
6/21	京都	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、住民より「ガスが使えない」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、ガス臭がありガスの漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該住宅に隣接する家屋の解体工事の際、誤って重機を埋設配管(解体敷地内(小規模導管供給の閉栓先の区画)の立ち上がり管(被覆鋼管)の部分)に接触し損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたもの。 なお、確認したのが夜間であったため埋設配管の損傷状況が確認出来なかったことから、供給先10戸を停止し、各戸に20kg容器を設置、仮設供給を開始し、仮設供給は、当該供給管の復旧作業を完了した時点で、すべて撤去した。
6/27	静岡	水道改修工事	都市ガス	0	1棟30戸の集合住宅で工事を受注した水道工事業者が委託したカッター業者がガス管(灯外内管)を損傷。連絡を受け駆けつけたガス事業者により当該集合住宅へ供給されるガス管の遮断バルブを閉止し、各戸のメーターガス栓も閉止。 カッター業者がガス管を把握していたかは調査中。
7/5	山口	下水工事	都市ガス	0	団地住宅内駐車場において、下水工事を行っていたところ、コンクリート土間にコンクリートカッターを入れ、続いてピック(駆動式はつり機)を動作させたところ、縦方向に切断された灯外内管から漏洩したガスに着火。消防からの指示により、特定ガス製造所元弁を保安閉栓。
7/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民(2名)の避難が実施された(40分間)。プラグ止め完了。
7/19	埼玉	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、下水工事業者が、敷地内の下水工事の際、埋設配管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、下水工事のためカッターでコンクリートを切断する際、埋設物の存在を確認せず、誤って3本の埋設配管をカッターで切断したもの。
7/19	大分	解体工事	都市ガス	1	他工事(解体工事)事業者が建物解体現場の敷地内駐車場の整備中にガス供給管(50A)を廃止管と誤認して折損し引き抜いた後、電動ピックにてコンクリートのはつり作業中に漏えいしたガスに着火し作業員が火傷した。(負傷者1名軽度の火傷、火災認定なし)
7/20	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が解体用つかみ機で灯外内管を破損し、漏えいしたガスに着火(負傷者なし)。周辺道路の交通規制が実施された。
7/21	神奈川	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
7/21	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が掘削機で支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/29	東京	解体工事	都市ガス	0	八王子警察からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
8/2	福島	工事	LPガス	0	他工事業者が誤って供給管を破損させ、ガスが漏えいした。

8/3	東京	水道改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
8/6	大阪	解体工事	都市ガス		小学校敷地内において他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、同校内の18名(児童11名・保護者7名)の避難が実施された。
8/9	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/10	京都	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民・店舗従業員及び顧客(約100名)の避難が実施された。
8/10	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、未使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
8/15	神奈川	屋外付帯工事	LPガス	0	学校において、他工事業者が屋外付帯工事を行った際、メーター下流の埋設供給管からガスが漏えいした。 原因は、他工事業者が、誤って当該埋設管にユンボを接触させたため、ガスが漏えいしたものの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者の責任者に対し、工事前に埋設管の存在を説明したが、現場の作業員には連絡が届いていなかった可能性があるとのこと。
8/17	埼玉	下水改修工事	都市ガス	0	工事業者(下水工事)がガス管を損傷し供給支障が発生した。 なお、当工事には事業者が立ち会っていた。
8/21	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)によると考えられる。
8/24	福岡	増築工事	LPガス	0	病院において、建設工事業者が、増築工事のため掘削作業を行っていたところ、ガスが漏えいした。 原因は、当該建設工事業者が、埋設配管の存在を認識していなかったため、誤って重機で当該配管に接触し損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。
8/24	茨城	下水工事	LPガス	0	団地において、下水工事業者が掘削中、埋設供給管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、重機を誤って操作し、団地に供給する集団供給設備の供給管を損傷させたため、ガスが漏えいしたものの。 なお、販売事業者と当該工事業者との事前の打ち合わせでは、供給管の周囲は手掘りで掘削することとしていたが、重機により掘削が行われたもの。
8/24	佐賀	解体工事	都市ガス	0	建物解体作業中に、解体業者が灯外内管(不明管)を折損。解体作業員はガス臭に気づいていたが、解体作業(鉄骨のガス溶断)を続けたため、滞留したガスに引火し、火災により交通規制を実施した。
8/25	神奈川	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「ガスが出ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地した際、使用期間が40年程経過しており老朽化していた当該供給管に負荷がかかり、ガスが漏えいしたものと推定される。 なお、販売事業者によると、当該供給管は毎月の漏えい検査にてこれまでに漏えいは確認されていなかったとのこと。
8/25	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がディスクグラインダーで灯外内管を破損し、ガスが漏えい着火したため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/26	茨城	解体工事	LPガス	0	団地の宅地内において、解体工事業者がコンクリート打設された階段を解体していたところ、階段下の埋設供給管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、階段下の当該供給管の存在を認識しておらず、重機を接触させたため、当該供給管が損傷しガスが漏えいしたものの。
8/27	千葉	その他改修工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(需要家による改装工事)によると考えられる。

8/30	神奈川	造成工事	LPガス	0	一般住宅において、造成工事業者より「重機でガス管を引っ掛けた」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、破損の確認ができなかったが、埋設管の一部が曲がり、動くことから損傷の可能性を確認した。 なお、販売事業者によると、当該消費者に工事の際には事前に連絡するように周知していたが、隣地での造成工事であったため、事前連絡は無く、工事の立会いが出来なかったとのこと。
8/31	福島	水道工事	都市ガス	0	経年管入替工事現場において、ガス供給している住宅への灯外内管を新しく敷設する為、請負業者が敷地内コンクリートの既設内管付近を電動ピックで掘り中、灯外内管を誤って損傷させた。そこから漏れたガスに電動ピックモータ部の回転、あるいは砕けた際のコンクリート片の火花(推定)により着火しガス供給している住宅を全焼させた。
9/7	京都	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/12	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によるものと考えられる。
9/16	大阪	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制が実施された。支管にて切断プラグ止め完了。
9/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制(1時間26分)及び周辺住民(4名)の避難が実施された。
9/23	奈良	電話工事	都市ガス	0	他工事業者(電話工事業者)がパールで供給管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/23	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/28	東京	解体工事	都市ガス	0	建設会社から解体中ガス臭気有、着火したとの通報があり出動。現地到着時先方にて消火済み。ガス臭気が残っていたため、交通規制を実施。火災認定なし。
10/4	東京	改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏れ出していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)によるものと考えられる。
10/4	埼玉	解体工事	都市ガス	0	消防署からガス臭いとの通報があり出動したところ、建物解体現場で灯外内管が破損されていた。警察、消防により交通規制を実施。
10/6	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によるものと考えられる。
10/6	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動し、灯外内管が損傷していることを確認した。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によるものと考えられる。
10/7	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管(鋼管)を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制(2時間26分)および避難(約30世帯)が実施された。
10/8	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者及び消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。
10/13	東京	漏水工事	都市ガス	0	工事業者から漏水工事中にガス管を切断し着火したとの通報があり出動。通報者にてメーターガス栓閉止済みを確認。水道漏水修理中誤って灯内内管を損傷し着火後すぐに消えたとのこと。
10/18	埼玉	改装工事	都市ガス	1	需要家より、敷地内工事中にガス管を損傷しガス臭いとの連絡を受け、訪問したところ、設備工事作業員が、灯外内管を損傷し漏れ着火により負傷し、病院に搬送されていた。原因は他工事(改装工事)に際し、給湯配管ろう付け作業中バーナーにて灯外内管を損傷したものの。
10/21	岡山	下水工事	LPガス	0	下水工事業者が団地内の市道を掘削中に、埋設供給管(ポリエチレン被覆管)を損傷させガスが漏れ出した。 原因は、当該下水工事業者が現場の図面の細部まで確認していなかったため、誤って重機を当該供給管に接触させ、ガスが漏れ出したもの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者からの事前連絡及び相談は無かったとのこと。 また、当該工事業者と販売事業者の図面に違いがあったとのこと。
10/22	福岡	解体工事	都市ガス	0	一般住宅の建物解体作業中に、解体業者が灯外内管(メーター立管)をサンダーにて損傷し、漏れ出したガスに着火。

10/27	岐阜	改装工事	都市ガス	0	消防より「リフォーム業者が建物内改装工事中ガス管を損傷。」との通報を受け緊急出動。現地調査結果、エアブレーカーによる灯外内管(40mm、白ガス管)の破損を確認。消防、警察にて通行規制(100m)、避難誘導(当該建物住民1名)を実施。公共交通である路線バスの運行支障が発生。
10/28	神奈川	整地工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
10/28	埼玉	水道工事	都市ガス	0	消防車の動きに走行中のガス事業者社員が気付く対象団地に到着したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。漏えい箇所をスクイズしようとしたが圧力が高く困難だったため、元バルブ閉止により供給支障となった。
10/29	兵庫	地質調査工事	都市ガス	0	他工事業者(地質調査会社)がボーリング孔で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/2	佐賀	排水工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者(排水工事業者)より「埋設供給管からガスが漏えいした」との連絡を受けた販売事業者が、漏えいを止めるための応急処置を指示し出動したところ、埋設供給管が損傷していた。原因は、当該工事業者が、重機により埋設供給管を誤って損傷させたため、ガスが漏えいしたものの。
11/5	京都	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/8	東京	改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷しており、引込み管ガス遮断装置閉止により供給支障が発生していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)による。
11/12	愛知	舗装工事	都市ガス	0	下水工事後の舗装復旧工事(昼間)にて、水取立管を損傷。オペレータは立管損傷に気付かず舗装工事を終了したが、夜間に消防通報で発覚。現地水取はBOX整備済で、掘削機での舗装撤去中に、損傷させたものと推測される。
11/15	埼玉	下水工事	LPガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管(PEとPLPの接続部)が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)。
11/22	埼玉	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。家屋解体工事現場にて解体業者が灯外内管を破損し着火。解体中のコンクリート基礎部を一部焦がした。消防による交通遮断あり。
11/28	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がオーガで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(8名)の避難が実施された。
11/29	滋賀	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、消防よりガス漏えい発生の連絡を受け、販売事業者が出動したところ、埋設供給管が破損していることを確認した。原因は、外溝工事業者が容器庫からの埋設供給管の位置を確認せずにコンクリートはつり作業を行ったため、誤って当該供給管を損傷させ、ガスが漏えいしたものの。

ご自宅のリフォーム工事等の際は事前にガス事業者への連絡をお願いします。



住宅工事等による ガス事故を防ぐために

自宅のリフォームや改装工事の際、ガス管やガス供給設備の位置等を確認しないで作業したため、ガス設備を誤って損傷し、お客様や作業員が巻き込まれる事故が発生しています。

お客様や作業員の安全を守るため、**工事の際は事前にガス販売店へ連絡し、ガス設備の取り扱い等、注意点を確認してください。**



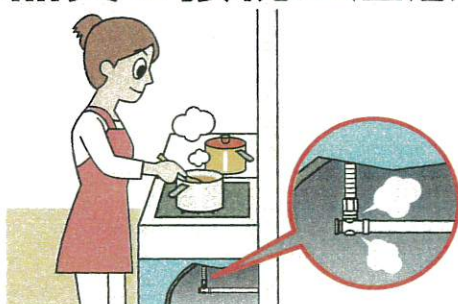
ガス漏えい・爆発の危険

埋設管・供給管の損傷に注意!



ガス管の位置を確認せずに工事を行うとガス管を損傷し、ガス漏れやガス爆発事故に至る場合があります。

ガス器具の接続に注意!



キッチン等をリフォームする際、ガス器具が正しく接続されていないと、ガス漏れ等の事故に至る場合があります。



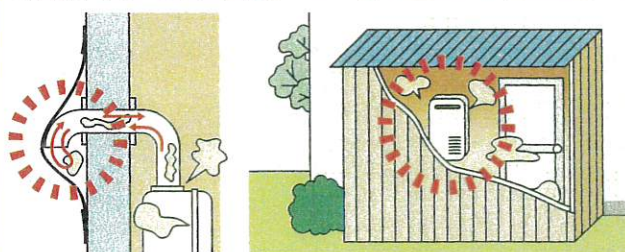
CO(一酸化炭素)発生 の危険

排気筒のはずれ・ズレに注意!



ふろがまや排気筒の交換時等にズレが生じると、COを含んだ排気が室内に逆流し、CO中毒の原因になります。

給排気設備の不全に注意!



外壁の塗装時に養生シートで給排気設備をふさいだり、屋外式の燃焼器を波板等で囲むと、燃焼器から発生したCOが室内に滞留し、CO中毒の原因になります。



CO(一酸化炭素)は**無色・無臭**できわめて**毒性が強い**気体です。気づかいうちに中毒症状を起こし、意識を失ったり、**死亡事故**に繋がる場合があります。

厨房設備のレイアウト変更の際は事前にガス事業者への連絡をお願いします。



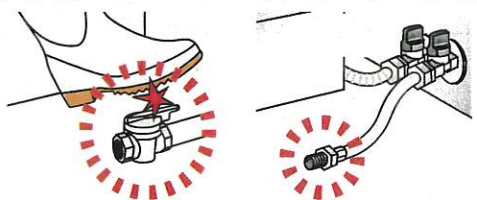
厨房設備のレイアウト変更によるガス事故を防ぐために

業務用厨房設備のレイアウトを変更した際、ゴム管の接続や不要になったガス栓が正しく処理されていないと、ガス漏れ等の事故につながります。厨房での事故は、従業員はもちろん、お客様を巻き込んで被害が大きくなる恐れがあります。お客様や従業員の安全を守るため、**厨房機器の入れ替えやレイアウト変更がある時は、ガス販売店に連絡**してください。

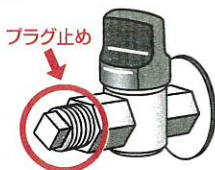


ガス漏えい・爆発の危険

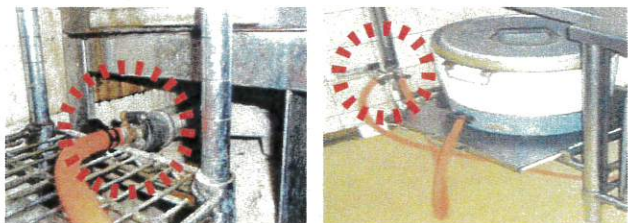
未使用のガス栓に注意!



未使用のガス栓は閉栓処理がされていないと、接触等による誤解放によってガス漏れ事故につながります。未使用のガス栓はガス販売店へ連絡し、正しく処理してください。



ガス栓・ゴム管の配置に注意!



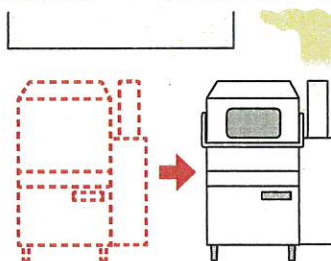
※写真はLPガスの例。都市ガス用のゴム管はクリーム色です。

ガス栓やゴム管が調理台の脚等に接触していると、燃焼器や調理台を移動した際に引っかかる等して、ガス漏れ事故につながります。



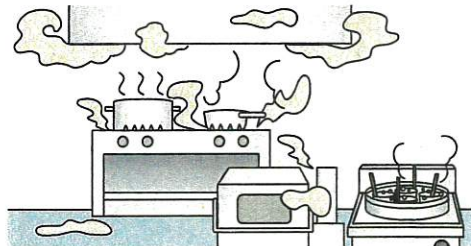
CO(一酸化炭素)発生危険

排気設備の位置に注意!



レイアウト変更によって正常な排気ができなくなると、COを含んだ排気が室内に滞留し、CO中毒の原因になります。

給排気設備の不全に注意!



燃焼器を増やしたり、入れ替えた際に、給排気設備の能力が不足すると、給排気不全によりCOを含んだ排気が室内に滞留し、CO中毒の原因になります。

機器の異常を感じたら
こちらへ連絡を

電話番号等をご記入ください。

※「緊急時連絡先」は、あらかじめご確認ください。

●会社名

●緊急時連絡先